

三ヶ日町

地形概況

浜名湖奥の猪鼻湖に流入する西神田川・日比沢川・宇利山川ぞいの谷底低地の流路にそう段丘・台地、崖錐状の山麓緩斜面からなる。大崎半島は開析の進んだ台地である。湖西山地・尉ヶ峰山地が浜名湖を囲むように分布する。

地質概況

北部山地は御荷鉾岩類で蛇紋岩をはさむ輝緑岩などからなり、湖西山地や東部の山地は石灰岩をはさむ秩父帯の黒色片岩、輝緑凝灰岩、砂岩などから構成される。高位や中位の段丘礫層が山地をふちどるように分布し、低地は砂泥質となる。

気象概況

年平均気温が推定 15.5℃と県内でも高く、冬は暖かく真冬日はほとんどない。平均気温の年較差は 18～20℃、日較差は 7℃内外と小さい。年平均降水量が 1,915mm(三ヶ日)と県平均より約 20%も少なく、春から夏にかけて雨が多い。

災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日 (昭和 19 年) 東南海地震 M=7.9
県中・西部で被害が大きかった。当地では全壊・半壊の家屋はなく、三ヶ日で柱の損傷 2 戸、屋根瓦緩み 6 戸程度の軽微なものであった。震度は 4～5 である。
- 1854 年 12 月 23 日 (安政元年) 安政東海地震 M=8.4
県下全般に被害が大きかった。当地ではかたむいた家、屋根・庇の落ちた家などが出て、また即死者もあった。震度は 4～5 である。
- 1498 年 9 月 20 日 (明応 7 年) 明応地震 M=8.2～8.4
震度は三ヶ日・佐久米・津々崎などで 6 と推定されている。

災害事例 津波

- 1498 年 9 月 20 日 (明応 7 年) 明応地震津波
佐久米付近の高瀬・宝田の集落で、数百戸のうち 7 戸のみ残ったといわれている。津波の高さは佐久米・津々崎で 3～4m である。

災害事例 高潮

- 1979 年 10 月 19 日 (昭和 54 年) 台風 20 号
浜名湖の高潮で床上浸水 11 戸、床下浸水 58 戸の被害を受けた。
- 1975 年 8 月 23 日 (昭和 50 年) 台風 6 号
浜名湖に生じた高潮で被害を生じた。
- 1961 年 9 月 16 日 (昭和 36 年) 第 2 室戸(18 号)台風
浜名湖の高潮のため、床上浸水 7 戸、床下浸水 45 戸の被害を生じた。
- 1959 年 9 月 26 日 (昭和 34 年) 伊勢湾(15 号)台風
浜名湖の高潮によって各所に浸水した。二俣線の線路が洗われた。三ヶ日・細江で 60 余戸の床下浸水を生じた。

- 1953年9月25日(昭和28年)台風13号
全壊4戸、半壊19戸、床上浸水119戸、床下浸水264戸に及んだ。他に佐久米で床下浸水50戸。
- 1935年8月29日(昭和10年)
浜名湖は高潮により、田・畑・養魚池の浸水、道路の欠潰などが起こり、多大の被害が生じた。引佐郡で床上浸水24戸、床下浸水158戸である。

災害事例 台風

- 1954年9月18日(昭和29年)
全県下特に中・西部で風水害あり、三ヶ日町では床上浸水15戸、床下浸水80戸を生じた。

災害事例 旱魃

- 1626(寛永3年)
旱魃。

災害事例 冷害

- 1786(天明6年)
秋雨につづき大不作。